

<株式会社エフエム東京 第377回放送番組審議会>

1. 開催年月日:平成23年4月5日(火)
2. 開催場所 :エフエム東京 本社10階 大会議室
3. 委員の出席:委員総数7名(社外7名 社内0名)

◇出席予定委員(6名)

青池 慎一 委員長	横森 美奈子 副委員長
渡辺 貞夫 委員	内館 牧子 委員
香山 リカ 委員	秋元 康 委員

◇欠席委員(1名)

西田 善太 委員

4. 議題:

【番組名】「特別番組(出演:中村正人、吉田美和、上原ひろみ)」

(ダイジェスト版)

【放送日時】2011年3月19日(土)22:00~22:55

【番組概要】

この番組は、震災発生から1週間が経過した3月19日(土)の生放送です。

当社は震災直後から18日(金)午前6時までの約一週間をCM、提供クレジットを完全休止とする特別番組体制を実施しました。

Dreams Come Trueの中村正人氏は、震災が発生した翌日も番組に生出演して頂き、刻々と被害の状況が分かり始める中、リスナーを励ますために被災地をはじめ全国から届くメールを読み、リクエストにこたえて頂きました。

当社特別編成がレギュラー番組体制に戻った18日(金)の翌日、震災から1週間が経過したこの日、ミュージシャンとして何ができるかを考えた末、当社アースギャラリーでの生放送およびDreams Come Trueの吉田美和氏、先日グラミー賞を受賞した上原ひろみ氏の3人による特別番組を放送することになりました。

本日は、3人編成での生演奏や被災地をはじめ全国から届くメッセージを読み上げる番組の一部をお聴き頂きます。

<試聴時間:約18分>

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側説明)

- 震災直後は、きれい事で“頑張って”や“大丈夫”などと言えない状況。当事者の人たちの声を伝えたり、自分がいるところで何ができるかを考える、というシンプルなスタンスで良かったと思う。何かしなくてはいけないと気だけが焦り、何も出来ない自分を責めたり、避難所のような生活をして体を壊す人も多い。こういうことは支援にもなにもなっていない。この番組では、東京のスタジオで、いま自分たちが、自分たちの持ち場でできることを精一杯やっている。支援のかたちの一つだと思った。

- 音楽の力は凄い。言葉以上のものを感じた。ドリカムのパフォーマンスもさることながら、上原ひろみさんの演奏に聴き入った。ここだけでしか聴けない一瞬の感じがあった。予定調和がこれだけ氾濫している中、このタイミングで、その時の想いや感情を、そのまま出すことに意味があった。これはラジオにしかできないこと。そういう意味でこの番組は良い番組だと思った。一人一人に語りかける感じがあった。これからのテーマとしては自粛をしないということ。自粛をしているとどんどん暗くなってしまう。我々が体力をつけないと支援もできない。浮かれているように見えることもあるかもしれないが、真剣なものはちゃんと伝わる。みんなが出来ることをちゃんとやっていく、ということが自粛されることなく広まっていくことが大切だと思う。

- 音楽の力は凄と思った。言葉よりも音楽は力を持っていると思う。被災者に対する言葉は、押し付けがましくならないか？不快にさせないか？など色々考え慎重になってしまう。でも音楽はそれを超えると思った。東北の知人にラジオのことを聞いたところ、「テレビでは壊滅という言葉とともに衝撃的な映像を流していたが、ラジオでは壊滅という言葉を使わずに伝えており、被災者に対するラジオの配慮を感じ、気分的にもラジオを聴いている方が楽だった」また、「テレビの映像を見て子どもたちが不安定になっていた。そんな中、避難所のラジオから流れたアンパンマンのテーマソングは良かった。子どもは喜んで飛び跳ね、大人は涙を流した」と話し、ラジオは被災者に、テレビはそれ以外のエリアに、というスタンスの違いを感じたと言っていた。ただ、パーソナリティが平時の時と同じように元気にやろうとしているのは良く分かったが、平時と同じテンションでやられるとなんだかムカつくし、かといって妙に沈痛にされると暗くなってしまうので、どういふふうにしてほしいのか分からない、とも話していた。その変のスタンスは、タイミングにもよると思うが難しいと思う。

- 女性出演者の早口が気になった。仕事をしてしまっている印象を受けた。もっと言い方があるのではないかと思った。「上を向いて歩こう」はもっと素直に演奏した方がいいのにと思った。若干エンターテイメントしすぎてしまったように感じた。
- 直接被害を受けていない人たちは何かをやらないといけないという強迫観念に駆られる。義援金を送ってホッとした部分もあるが、自分にやれることをできるだけやろうと思い、キレイな色を身に付けて気分を上げたり、レスキューカラーとして原色をひとつ身につけるなど、役立つおしゃれを発信している。今回の震災で、ラジオの良さを改めて実感することが多かったと思う。この番組はリアルタイムで聴いていたが素晴らしかった。この番組とは別で、TOKYO FM でよくオンエアされている福島の曲が気になっている。気持ちは伝わってくるが、あまり良い曲だとは思えない。一日に何回もかかることがある。もっと他に伝えなくてはいけないことがあると思う。
- 震災直後から特別番組体制で頑張られたことと思う。音楽は素晴らしいと感じた。緊急体制の中で臨機応変に対応されてよく作られたと思う。

5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

- ① 放 送:番組「JOGLIS SUNDAY」
4月24日(日) 6:00～7:30 放送
- ② 書 面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き
- ③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp>

7. その他

次回審議会5月10日(火)に開催することを決めた。

以 上